

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 096	提案機関名 JA かながわ西湘早川支店
要望問題名 鳥獣による食害が少ない傾向にある販売目的農作物の現地栽培試験と導入課題の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 鳥獣による農作物の被害が増大しているなかで、駆除・捕獲による対策や農家による自己防衛(柵・ネット等)にも限界があり、栽培意欲の減退に拍車がかかっているのが現状です。 耕作放棄地の解消等の諸問題もありますが、鳥獣による食害がないような換金作物の導入による、地域農業の維持活性化も急務となっています。 当地区での被害はかんきつ類が多く、主に野猿・イノシシによるものです。カラス・ヒヨドリ等については防鳥ネット等による自主防衛を図っている農家が多くなっています。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術所 <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備 考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	企画経営部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 新規性・独自性に着目した かながわ特産品の開発		
対応の内容等	鳥獣による食害が少ない新規作物の導入については、単独の研究課題としての実施は困難ですが、新たな特産品の開発を目的とした課題の中の導入要件として検討してまいります。 また、国や他県の有用な情報があれば普及部門をとおして提供いたします。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備 考			